

恵み豊かな「うみ」を 未来にうけつぐために



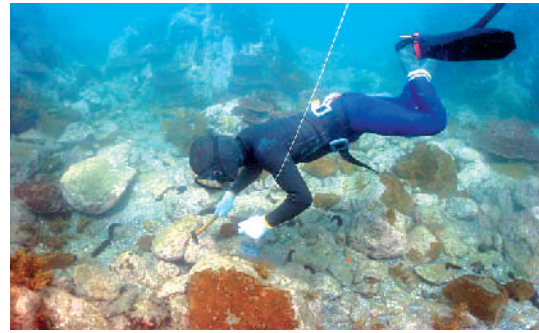
沿岸域にある藻場や干潟などは、魚の産卵場や水産資源の保護や培養、水質浄化に重要な役割を果たしており、これまで私たちは多くの恵みを受けてきました。

しかし、近年は海洋環境の変化などにより、藻場の減少や干潟の環境悪化などが進み、それらの機能低下による水産資源への影響や水質の悪化などが懸念されています。

こうしたなか、国や都道府県、大学などの研究機関による沿岸域における調査・研究から、藻場の消失による※磯



右側が磯焼けした部分です。(平成14年上川口地先)



漁業者によるウニ除去の様子

焼けは、藻食性魚類やウニ類による食害が大きな原因の一つであり、ウニ類の除去が磯焼け対策に有効であることが分かつてきて、「磯焼け対策ガイドライン」を作成しました。
旧大方町でも、平成14・15・17・19年度に国や県の事業を活用し、高知県と共同で上川口地区においてウニ除去による磯焼け対策実証試験を実施し、除去区では長期的に藻場が回復・拡大したことから、高知県の沿岸域においてもウニ除去が磯焼け対策に有効であることが分かりました。

高知県内の取り組み

それらの成果から、高知県では漁業者などが磯焼け対策に取り組む際の手引きとして、平成19年度までに県内で行なった試験研究の成果および検証結果をもとに「高知県磯焼け対策指針」を作成しました。
また、今年度からは、新たに創設された国の支援事業を活用し、黒潮町を含む県内の7市町と高知県、その他の漁業関係団体で「高知県環境生態系保全対策地域協議会」を組織し、県内の藻場や干潟などの維持回復に取り組むグループの活動を支援していくことになりました。

黒潮町の取り組み

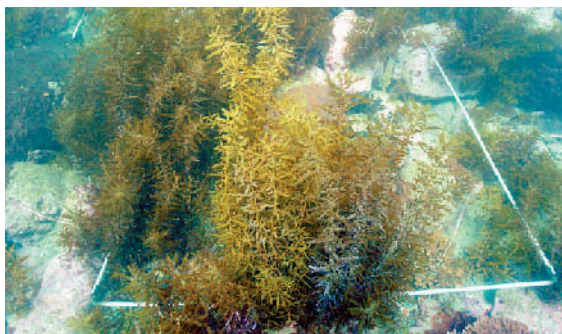
黒潮町の沿岸には、カジメやホンダワラ類などの海藻で形成された貴重な藻場が残っています。残念ながら年々磯焼けが進んでいます。

このため、今年度から5カ年計画で、高知県漁協入野支所の漁業者などを中心に組織された「黒潮町藻場保全推進協議会」が、国の支援事業を活用して、まず田野浦地先と上川口地先の約12ヘクタールを対象に、ウニ除去や母藻の

設置による藻場の維持・回復に向けた取り組みを始めています。

※「磯焼け」とは

「浅海の岩礁、転石域において、海藻の繁茂している場所（藻場）が、季節的な増減や多少の経年変化の範囲を超えて、著しく衰退、またはなくなり、貧植生状態となる現象」で、いったん磯焼けが発生すると、藻場の回復までに長い年月がかかり、沿岸漁業に大きな影響を及ぼします。



ウニ除去後に海藻が繁殖しました。(平成16年上川口地先)

○お問い合わせ

佐賀支所海洋森林課

☎55-3115(直通)



2010春の「緑の募金」へご協力を！



3月1日から5月31日は、春の「緑の募金強化期間」です。

地球温暖化防止は、一人ひとりの取り組みから始まります。きれいな水や空気をつくる豊かな森林づくりも、多くの人の参加によって可能になります。日常の中でだれもができる「森づくり」、それが「緑の募金」です。

1円からはじめる「森づくり」。「緑の募金」は、県内の緑をふやすこと、森に関わる取り組み、子どもたちの体験活動や環境教育などを支援しています。ぜひ、ご協力をよろしくお願いいたします。

寄せられた寄付金は、公益社団法人高知県森と緑の会を通じて皆さんの身近なところで活用されています。

役場佐賀支所海洋森林課でも受け付けていますのでよろしくお願いいたします。

